農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省
大臣官房統計部
平成29年12月5日公表

平成29年産水陸稲の収穫量

－ 水稲の収穫量（主食用）は730万6,000t －

【調査結果の概要】

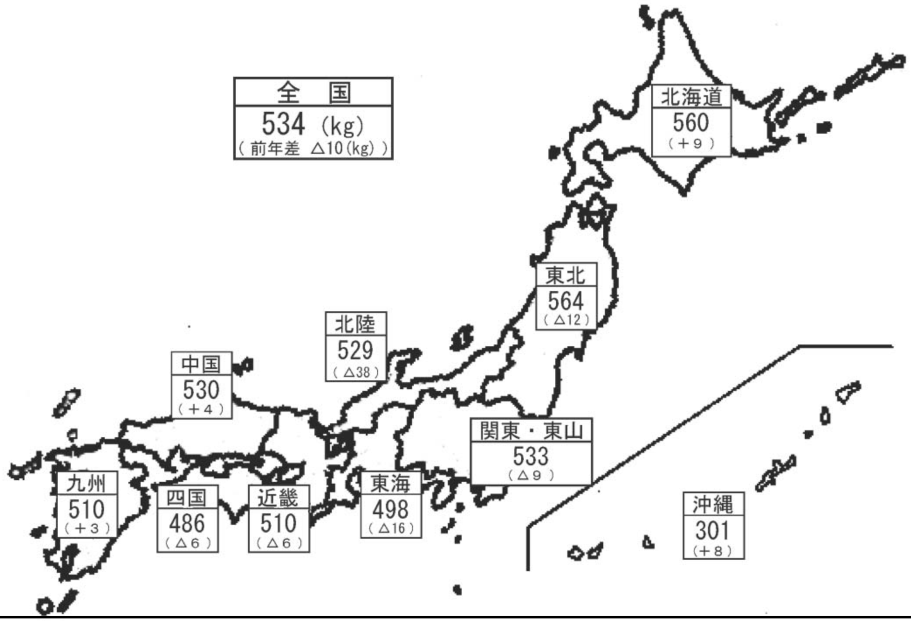
1　平成29年産水稲の作付面積（子実用）は146万5,000haとなり、前年産に比べ1万3,000ha減少した。このうち、主食用作付面積は137万haとなり、前年産に比べ1万1,000ha減少した。

2　平成29年産水稲の全国の10a当たり収量は534kgとなり、作柄の良かった前年産に比べ10kgの減少が見込まれる。
　また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は、100となる見込み。

3　以上の結果、平成29年産水稲の収穫量（子実用）は782万2,000tとなり、前年産に比べ22万tの減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は730万6,000tとなり、前年産に比べ19万tの減少が見込まれる。

4　平成29年産陸稲の作付面積（子実用）は813haで前年産に比べ131haの減少、収穫量（子実用）は1,920tで前年産に比べ140tの減少となった。

図1　平成29年産水稲の全国農業地域別10a当たり収量



○　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
○　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
○　10a当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
○　沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

◎　水陸稲調査結果の主な利活用

・　主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第 113 号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
・　食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
・　米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
・　農業災害補償法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎　累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年　産	水陸稲計		水稲					
						参考		
	作付面積（子実用）	収穫量（子実用）	作付面積（子実用）	10ａ当たり収量	収穫量（子実用）	主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	
平成9年産	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,599,000	8,607,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,575,000	8,439,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,506,000	7,989,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29(概数値)	**1,466,000**	**7,824,000**	**1,465,000**	**534**	**7,822,000**	**1,370,000**	**7,306,000**	**100**

資料：農林水産省統計部『作物統計』
注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。
　　2　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　3　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である（以下同じ。）。
　　4　作況指数は、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70㎜のふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
　　5　「…」は、調査を欠くことを示している。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45％）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（23 ページ【参考１】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表１　ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：％

年　産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以　上
平成24年産	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29（概数値）	**100.0**	**0.9**	**1.5**	**2.1**	**2.9**	**16.1**	**76.5**
平 均 値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.5	14.3	79.4
対平均差（ﾎﾟｲﾝﾄ）	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	1.8	△ 2.9

注：１　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である。
　　２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

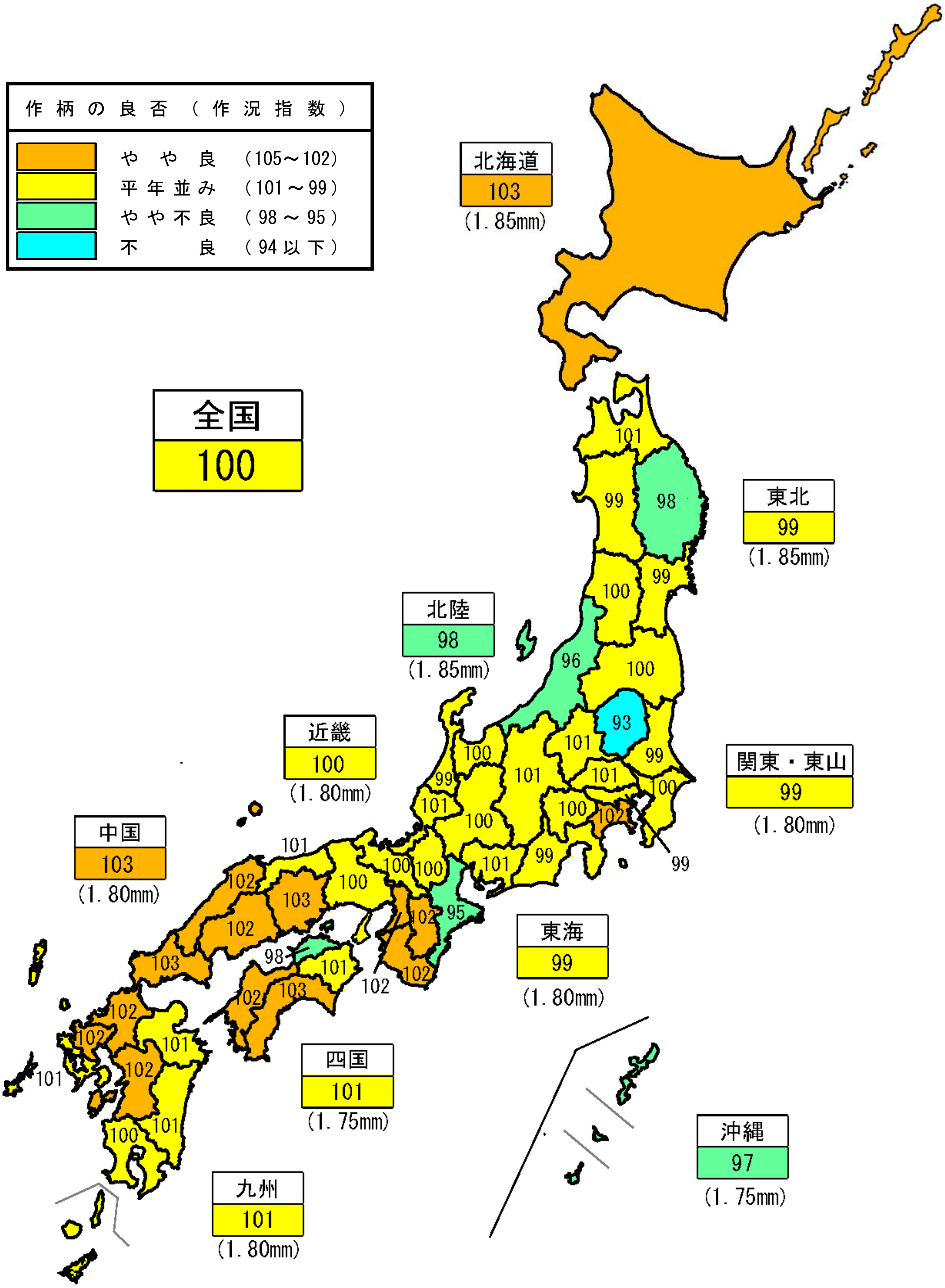
表２　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年　産		単位	1.70mm 以　上	1.75mm 以　上	1.80mm 以　上	1.85mm 以　上	1.90mm 以　上	2.00mm 以　上
平成24年産	10ａ当たり収量	kg	540	537	531	523	511	441
	収穫量(子実用)	t	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10ａ当たり収量	kg	539	535	528	517	503	425
	収穫量(子実用)	t	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10ａ当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量(子実用)	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10ａ当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10ａ当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29（概数値）	**10ａ当たり収量**	kg	**534**	**529**	**521**	**510**	**494**	**409**
	収穫量(子実用)	t	**7,822,000**	**7,752,000**	**7,634,000**	**7,470,000**	**7,243,000**	**5,984,000**
	対前年比	%	97	97	97	96	96	93

注：１　ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
　　２　ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図２　全国農業地域・都道府県別作況指数

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：１　作況指数は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は 1.85 ㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は 1.80 ㎜、四国及び沖縄は 1.75 ㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

２　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【調査結果】

1　作柄概況（統計表 10、11 ページ参照）

(1)　水　稲

ア　平成 29 年産水稲の作付面積（子実用）は 146 万 5,000ha で、前年産に比べ１万 3,000ha 減少した。このうち、主食用作付面積は 137 万 ha で、前年産に比べ１万 1,000ha 減少した。

イ　平成 29 年産水稲の全国農業地域別の作柄は、北海道、東北、北陸、関東・東山及び東海では、全もみ数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となったものの、７月下旬から８月にかけての日照不足やその後の低温等の影響により登熟が平年を下回る地域があったことから、10ａ当たり収量は、北海道は 560kg（前年産に比べ９kg 増加）、東北は 564kg（同 12 kg減少）、北陸は 529kg（同 38kg 減少）、関東・東山は 533kg（同９kg 減少）、東海は 498kg（同 16kg 減少）となった。

　近畿以西では、全もみ数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となり、登熟は、九州で９月中旬以降の日照不足等による影響が見られたものの、その他の地域ではおおむね順調であったことから、10ａ当たり収量は、近畿は 510kg（前年産に比べ６kg 減少）、中国は 530kg（同４kg 増加）、四国は 486kg（同６kg 減少）、九州は 510kg（同３kg 増加）、沖縄県は 301kg（同８kg 増加）となった。

　この結果、全国の 10ａ当たり収量は 534kg（作柄の良かった前年産に比べ 10kg 減少）が見込まれる。

ウ　以上の結果、収穫量（子実用）は 782 万 2,000ｔ（前年産に比べ 22 万ｔ減少）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に 10ａ当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、730 万 6,000ｔ（同 19 万ｔ減少）が見込まれる。

(2)　陸　稲

　平成 29 年産陸稲の作柄は、主産県である茨城県で適度な降雨があったこと等から、全国の 10ａ当たり収量は 236kg（平均収量対比 106％）となった。

表３　平成29年産水陸稲の作付面積及び収穫量

全国農業地域	水陸稲計		水稲							
				10ａ当たり収量		収穫量（子実用）		参考		
	作付面積（子実用）	収穫量（子実用）	作付面積（子実用）①	実数②	前年産との比較 対差	実数③＝①×②	前年産との比較 対差	主食用作付面積④	収穫量（主食用）⑤＝④×②	作況指数
	ha	t	ha	kg	kg	t	t	ha	t	
全国	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	△ 10	7,822,000	△ 220,000	1,370,000	7,306,000	100
北海道	103,900	581,800	103,900	560	9	581,800	3,200	98,600	552,200	103
東北	374,800	2,115,000	374,800	564	△ 12	2,115,000	△ 50,000	334,300	1,882,000	99
北陸	204,100	1,079,000	204,100	529	△ 38	1,079,000	△ 86,000	180,100	952,100	98
関東・東山	269,300	1,433,000	268,500	533	△ 9	1,431,000	△ 34,000	257,400	1,372,000	99
東海	92,400	460,100	92,400	498	△ 16	460,100	△ 20,200	90,500	450,000	99
近畿	103,200	526,600	103,200	510	△ 6	526,600	△ 12,100	99,400	507,000	100
中国	104,300	552,400	104,300	530	4	552,400	△ 4,900	101,200	536,100	103
四国	49,900	242,400	49,900	486	△ 6	242,400	△ 8,100	49,500	241,000	101
九州	163,100	831,900	163,100	510	3	831,900	△ 7,800	158,700	811,400	101
沖縄	727	2,190	727	301	8	2,190	△ 110	727	2,190	97

注：１　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　２　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
　　３　作況指数は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

２　水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）等（統計表 14～19 ページ参照）

平成 29 年産水稲のふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の 1.85 ㎜以上の玄米の重量割合は 95.5%と、直近５か年平均値に比べ 0.7 ポイント低くなっている（表４参照）。

表４　ふるい目幅別重量分布状況

単位：%

全国農業地域	区分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全国	重量割合	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
	平均値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.5	14.3	79.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	1.8	△ 2.9
北海道 (1.85㎜)	重量割合	100.0	0.6	0.8	1.1	1.6	9.3	86.6
	平均値	100.0	0.7	1.1	1.3	1.9	11.1	83.9
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	△ 1.8	2.7
東北 (1.85㎜)	重量割合	100.0	0.7	1.4	1.7	2.5	13.8	79.9
	平均値	100.0	0.5	0.9	1.3	1.9	11.2	84.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.5	0.4	0.6	2.6	△ 4.3
北陸 (1.85㎜)	重量割合	100.0	0.7	1.3	1.7	2.5	14.2	79.6
	平均値	100.0	0.5	1.0	1.3	1.9	12.3	83.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.3	0.4	0.6	1.9	△ 3.4
関東・東山 (1.80㎜)	重量割合	100.0	1.1	1.8	2.6	3.9	22.8	67.8
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	3.0	18.1	74.8
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.5	0.6	0.9	4.7	△ 7.0
東海 (1.80㎜)	重量割合	100.0	0.8	1.3	2.1	2.4	13.7	79.7
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	11.6	82.8
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.1	0.5	0.3	2.1	△ 3.1
近畿 (1.80㎜)	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.8	2.5	13.4	79.9
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.6	13.5	79.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.5
中国 (1.80㎜)	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.8	2.1	11.6	82.4
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.0	2.5	13.2	80.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 1.6	2.4
四国 (1.75㎜)	重量割合	100.0	0.9	1.7	2.5	3.4	17.5	74.0
	平均値	100.0	1.0	1.8	2.6	3.6	18.1	72.9
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	1.1
九州 (1.80㎜)	重量割合	100.0	1.4	2.5	3.6	4.9	22.9	64.7
	平均値	100.0	1.3	2.3	3.2	4.7	22.5	66.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.4	0.2	0.4	△ 1.3

注：１　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である。
　　２　全国農業地域名の下に記載されている括弧内の数値は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である（以下同じ。）。

表５　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

全　国 農業地域	区　分	単位	1.70mm 以　上	1.75mm 以　上	1.80mm 以　上	1.85mm 以　上	1.90mm 以　上	2.00mm 以　上
全　国	10ａ当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
北海道	10ａ当たり収量	kg	560	557	552	546	537	485
(1.85mm)	収穫量(子実用)	t	581,800	578,300	573,700	567,300	557,900	503,800
東　北	10ａ当たり収量	kg	564	560	552	543	528	451
(1.85mm)	収穫量(子実用)	t	2,115,000	2,100,000	2,071,000	2,035,000	1,982,000	1,690,000
北　陸	10ａ当たり収量	kg	529	525	518	509	496	421
(1.85mm)	収穫量(子実用)	t	1,079,000	1,071,000	1,057,000	1,039,000	1,012,000	858,900
関東・東山	10ａ当たり収量	kg	533	527	518	504	483	361
(1.80mm)	収穫量(子実用)	t	1,431,000	1,415,000	1,390,000	1,352,000	1,296,000	970,200
東　海	10ａ当たり収量	kg	498	494	488	477	465	397
(1.80mm)	収穫量(子実用)	t	460,100	456,400	450,400	440,800	429,700	366,700
近　畿	10ａ当たり収量	kg	510	505	498	489	476	407
(1.80mm)	収穫量(子実用)	t	526,600	521,900	514,000	504,500	491,300	420,800
中　国	10ａ当たり収量	kg	530	526	519	509	498	437
(1.80mm)	収穫量(子実用)	t	552,400	548,000	540,800	530,900	519,300	455,200
四　国	10ａ当たり収量	kg	486	482	473	461	445	360
(1.75mm)	収穫量(子実用)	t	242,400	240,200	236,100	230,000	221,800	179,400
九　州	10ａ当たり収量	kg	510	503	490	472	447	330
(1.80mm)	収穫量(子実用)	t	831,900	820,300	799,500	769,500	728,700	538,200

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
　　２　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表６　水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【平成29年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

全　国 農業地域	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以上
全　国	100.0	0.3	2.7	24.9	36.9	34.3	0.9
北海道	100.0	0.3	-	0.3	15.0	79.0	5.4
東　北	100.0	0.0	-	0.2	18.1	81.7	0.0
北　陸	100.0	0.1	-	1.3	38.3	58.7	1.6
関東・東山	100.0	1.0	5.9	43.1	47.4	2.4	0.2
東　海	100.0	0.3	2.5	35.7	46.4	14.8	0.3
近　畿	100.0	0.6	5.3	44.1	30.5	17.0	2.5
中　国	100.0	-	0.8	13.0	69.2	16.9	0.1
四　国	100.0	0.3	11.4	65.6	22.7	-	-
九　州	100.0	0.1	2.6	44.9	44.6	7.6	0.2

注：この表は水稲作況標本（基準）筆農家等が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

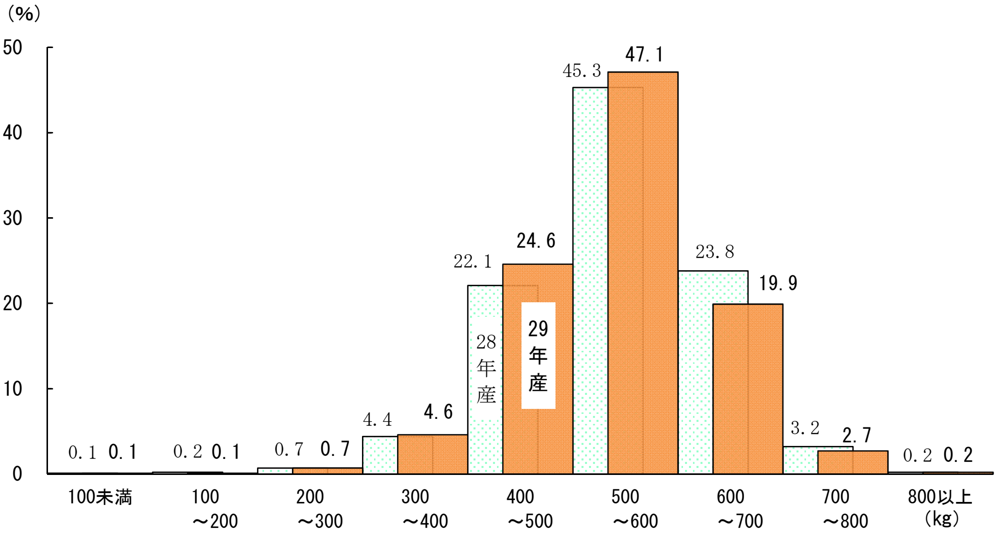
表７　平成29年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位：％

全国農業地域	区分	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	**筆数割合**	**100.0**	**0.1**	**0.1**	**0.7**	**4.6**	**24.6**	**47.1**	**19.9**	**2.7**	**0.2**
	前年値	100.0	0.1	0.2	0.7	4.4	22.1	45.3	23.8	3.2	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.2	2.5	1.8	△ 3.9	△ 0.5	0.0
北海道	**筆数割合**	**100.0**	**－**	**－**	**0.2**	**1.6**	**17.8**	**45.3**	**31.3**	**3.8**	**－**
	前年値	100.0	－	－	0.2	2.1	20.0	49.1	26.7	1.9	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	－	0.0	△ 0.5	△ 2.2	△ 3.8	4.6	1.9	－
東北	**筆数割合**	**100.0**	**－**	**0.0**	**0.3**	**2.3**	**16.0**	**42.2**	**32.3**	**6.4**	**0.5**
	前年値	100.0	0.1	0.1	0.2	1.7	12.9	38.5	39.5	6.7	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	0.6	3.1	3.7	△ 7.2	△ 0.3	0.2
北陸	**筆数割合**	**100.0**	**－**	**－**	**0.6**	**4.3**	**21.6**	**53.3**	**19.4**	**0.7**	**0.1**
	前年値	100.0	－	－	0.5	2.1	14.5	47.2	30.7	5.0	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	－	0.1	2.2	7.1	6.1	△ 11.3	△ 4.3	0.1
関東・東山	**筆数割合**	**100.0**	**0.1**	**0.2**	**0.6**	**3.8**	**24.4**	**44.6**	**20.6**	**5.2**	**0.5**
	前年値	100.0	0.1	－	0.4	3.3	22.1	45.0	23.7	4.9	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	0.2	0.5	2.3	△ 0.4	△ 3.1	0.3	0.0
東海	**筆数割合**	**100.0**	**0.1**	**－**	**1.4**	**7.0**	**34.9**	**45.1**	**10.8**	**0.7**	**－**
	前年値	100.0	－	－	0.2	6.0	29.6	48.7	14.9	0.6	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	－	1.2	1.0	5.3	△ 3.6	△ 4.1	0.1	－
近畿	**筆数割合**	**100.0**	**－**	**－**	**1.0**	**4.9**	**30.1**	**53.3**	**10.5**	**0.2**	**－**
	前年値	100.0	－	0.1	1.2	5.4	27.6	48.3	16.4	1.0	－
	対前年差(ポイント)	0.0	－	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	2.5	5.0	△ 5.9	△ 0.8	－
中国	**筆数割合**	**100.0**	**0.2**	**0.2**	**1.0**	**3.3**	**24.0**	**49.0**	**20.1**	**2.1**	**0.1**
	前年値	100.0	－	0.5	0.4	6.3	25.2	44.5	21.3	1.6	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	△ 0.3	0.6	△ 3.0	△ 1.2	4.5	△ 1.2	0.5	△ 0.1
四国	**筆数割合**	**100.0**	**0.2**	**1.1**	**1.1**	**11.1**	**36.0**	**40.5**	**10.0**	**－**	**－**
	前年値	100.0	0.2	0.5	2.1	7.9	35.3	45.5	8.5	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.6	△ 1.0	3.2	0.7	△ 5.0	1.5	－	－
九州	**筆数割合**	**100.0**	**0.2**	**0.1**	**1.0**	**6.8**	**28.9**	**50.7**	**12.1**	**0.2**	**－**
	前年値	100.0	0.5	0.3	1.4	8.0	27.3	49.1	12.9	0.5	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.4	△ 1.2	1.6	1.6	△ 0.8	△ 0.3	－

注：10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

図３　平成 29 年産水稲の作況標本筆の 10ａ当たり玄米重の分布状況（全国）



３　水稲の玄米品位の状況（統計表 22 ページ参照）

平成 29 年産水稲の玄米品位の状況は、全国では、整粒の割合が 70.6％と、前年産に比べ 2.2 ポイント低くなっている（表８参照）。

表８　平成29年産水稲の玄米品位の状況（全国）

単位：％

区分	整粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒
重量割合	**70.6**	**24.4**	**2.7**	**5.1**	**0.8**
前年値	72.8	22.8	2.4	4.4	0.6
対前年差(ポイント)	△2.2	1.6	0.3	0.7	0.2

注：作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである。

【統　計　表】

統計表一覧　　　　ページ

1　平成29年産水陸稲の作付面積及び収穫量…………………………………10

2　平成29年産水稲の収量構成要素（水稲作況標本筆調査成績）……………12

3　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況…………………………14

4　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量…………………………16

5　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）………………………17

6　水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布……………………………18

7　平成29年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況………………19

8　平成29年産水稲の作柄表示地帯別作況指数……………………………………20

9　平成29年産水稲の玄米品位の状況…………………………………………22

10　平成29年産水稲の被害面積及び被害量（全国）………………………………22

利用上の注意

1　統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　数		７桁以上（100万）	６桁（10万）	５桁（１万）	４桁（1,000）	３桁以下（100）
四捨五入する桁数（下から）		３桁	２桁		１桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

2　表中に用いた記号は次のとおりである。

「０」　：　単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
「0.0」：　増減がないもの
「－」　：　事実のないもの
「…」　：　事実不詳又は調査を欠くもの
「ｘ」　：　個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。
「△」　：　負数又は減少したもの
「nc」　：　計算不能

3　秘匿方法について

統計調査結果について、生産者数が２以下の場合には調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「ｘ」表示とする秘匿措置を施している。

なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「ｘ」表示としている。

4　この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「平成29年産水陸稲の収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1　平成29年産水陸稲の作付面積及び収穫量

全国・都道府県	水陸稲計		水				
	作付面積（子実用）	収穫量（子実用）	作付面積（子実用）①	10ａ当たり収量②	（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 10ａ当たり収量③	10ａ当たり平年収量④	作況指数⑤＝③／④
	ha	t	ha	kg	kg	kg	
全国 (1)	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	517	518	100
北海道 (2)	103,900	581,800	103,900	560	546	530	103
青森 (3)	43,400	258,700	43,400	596	576	573	101
岩手 (4)	49,800	265,400	49,800	533	511	522	98
宮城 (5)	66,300	354,700	66,300	535	512	519	99
秋田 (6)	86,900	498,800	86,900	574	550	556	99
山形 (7)	64,500	385,700	64,500	598	578	580	100
福島 (8)	64,000	351,400	64,000	549	529	527	100
茨城 (9)	68,700	358,900	68,100	525	510	515	99
栃木 (10)	57,800	294,200	57,600	510	492	529	93
群馬 (11)	15,500	77,300	15,500	499	483	479	101
埼玉 (12)	31,600	156,100	31,600	494	478	475	101
千葉 (13)	55,200	299,700	55,200	543	529	528	100
東京 (14)	143	583	141	411	400	404	99
神奈川 (15)	3,100	15,700	3,090	509	488	478	102
新潟 (16)	116,300	611,700	116,300	526	505	527	96
富山 (17)	37,600	205,300	37,600	546	528	527	100
石川 (18)	25,300	131,300	25,300	519	504	507	99
福井 (19)	24,900	130,700	24,900	525	503	500	101
山梨 (20)	4,960	27,200	4,960	549	531	533	100
長野 (21)	32,300	203,200	32,300	629	616	607	101
岐阜 (22)	21,900	106,900	21,900	488	479	478	100
静岡 (23)	15,700	80,900	15,700	515	506	513	99
愛知 (24)	27,500	140,800	27,500	512	503	499	101
三重 (25)	27,400	131,500	27,400	480	466	489	95
滋賀 (26)	31,700	163,900	31,700	517	504	506	100
京都 (27)	14,700	75,000	14,700	510	501	502	100
大阪 (28)	5,150	26,100	5,150	506	490	480	102
兵庫 (29)	36,600	183,400	36,600	501	489	489	100
奈良 (30)	8,610	44,900	8,610	521	508	500	102
和歌山 (31)	6,560	33,300	6,560	507	496	484	102
鳥取 (32)	12,600	65,500	12,600	520	510	504	101
島根 (33)	17,500	90,800	17,500	519	510	500	102
岡山 (34)	30,100	163,700	30,100	544	531	514	103
広島 (35)	23,700	126,600	23,700	534	524	513	102
山口 (36)	20,300	105,800	20,300	521	508	492	103
徳島 (37)	11,500	55,200	11,500	480	476	469	101
早期栽培 (38)	4,450	21,400	4,450	481	477	459	104
普通栽培 (39)	7,080	33,900	7,080	479	475	475	100
香川 (40)	12,800	62,000	12,800	484	480	490	98
愛媛 (41)	13,900	70,600	13,900	508	503	492	102
高知 (42)	11,600	54,600	11,600	471	467	454	103
早期栽培 (43)	6,500	32,400	6,500	498	495	477	104
普通栽培 (44)	5,060	22,000	5,060	435	431	426	101
福岡 (45)	35,700	181,700	35,700	509	488	477	102
佐賀 (46)	24,600	130,600	24,600	531	511	503	102
長崎 (47)	11,600	57,400	11,600	495	469	463	101
熊本 (48)	33,300	175,500	33,300	527	508	497	102
大分 (49)	21,000	106,300	21,000	506	483	480	101
宮崎 (50)	16,300	81,300	16,300	499	485	482	101
早期栽培 (51)	…	…	6,460	494	486	470	103
普通栽培 (52)	…	…	9,870	503	485	490	99
鹿児島 (53)	20,400	99,100	20,400	486	468	469	100
早期栽培 (54)	…	…	4,460	472	464	434	107
普通栽培 (55)	…	…	16,000	490	468	478	98
沖縄 (56)	727	2,190	727	301	297	305	97
第一期稲 (57)	537	1,900	537	354	350	363	96
第二期稲 (58)	190	289	190	152	147	160	92

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　2　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
　　3　全国の収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
　　4　（参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10ａ当たり収量、④10ａ当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

稲			陸稲				
収穫量（子実用）⑥=①×②	参考 主食用作付面積 ⑦	参考 収穫量（主食用）⑧=⑦×②	作付面積（子実用）	10a当たり収量	収穫量（子実用）	（参考）10a当たり平均収量対比	
t	ha	t	ha	kg	t	%	
7,822,000	1,370,000	7,306,000	813	236	1,920	106	(1)
581,800	98,600	552,200	0	x	x	x	(2)
258,700	38,000	226,500	0	142	1	58	(3)
265,400	47,000	250,500	0	183	1	97	(4)
354,700	63,500	339,700	－	－	－	－	(5)
498,800	69,500	398,900	－	－	－	－	(6)
385,700	56,400	337,300	－	－	－	－	(7)
351,400	59,900	328,900	2	124	2	71	(8)
357,500	66,400	348,600	580	244	1,420	109	(9)
293,800	53,600	273,400	191	228	435	100	(10)
77,300	13,900	69,400	3	160	5	101	(11)
156,100	30,700	151,700	2	130	2	100	(12)
299,700	53,300	289,400	22	153	34	83	(13)
580	141	580	2	160	3	119	(14)
15,700	3,090	15,700	5	185	9	107	(15)
611,700	100,300	527,600	2	235	4	109	(16)
205,300	33,300	181,800	－	－	－	nc	(17)
131,300	23,200	120,400	－	－	－	nc	(18)
130,700	23,300	122,300	－	－	－	nc	(19)
27,200	4,880	26,800	－	－	－	nc	(20)
203,200	31,300	196,900	－	－	－	nc	(21)
106,900	21,500	104,900	－	－	－	nc	(22)
80,900	15,600	80,300	1	220	1	105	(23)
140,800	26,600	136,200	－	－	－	－	(24)
131,500	26,800	128,600	－	－	－	－	(25)
163,900	30,000	155,100	－	－	－	nc	(26)
75,000	14,100	71,900	－	－	－	－	(27)
26,100	5,150	26,100	－	－	－	nc	(28)
183,400	35,100	175,900	－	－	－	nc	(29)
44,900	8,580	44,700	－	－	－	nc	(30)
33,300	6,560	33,300	－	－	－	nc	(31)
65,500	12,400	64,500	－	－	－	nc	(32)
90,800	17,200	89,300	－	－	－	nc	(33)
163,700	29,100	158,300	－	－	－	nc	(34)
126,600	23,100	123,400	－	－	－	nc	(35)
105,800	19,300	100,600	－	－	－	nc	(36)
55,200	11,300	54,200	－	－	－	－	(37)
21,400	…	…	－	－	－	nc	(38)
33,900	…	…	－	－	－	nc	(39)
62,000	12,800	62,000	－	－	－	nc	(40)
70,600	13,900	70,600	－	－	－	nc	(41)
54,600	11,500	54,200	－	－	－	nc	(42)
32,400	…	…	－	－	－	nc	(43)
22,000	…	…	－	－	－	nc	(44)
181,700	35,100	178,700	－	－	－	nc	(45)
130,600	24,400	129,600	－	－	－	nc	(46)
57,400	11,600	57,400	－	－	－	－	(47)
175,500	32,200	169,700	0	135	0	95	(48)
106,300	20,900	105,800	－	－	－	－	(49)
81,300	15,000	74,900	1	174	1	87	(50)
31,900	…	…	…	…	…	nc	(51)
49,600	…	…	…	…	…	nc	(52)
99,100	19,600	95,300	2	181	4	93	(53)
21,100	…	…	…	…	…	nc	(54)
78,400	…	…	…	…	…	nc	(55)
2,190	727	2,190	－	－	－	nc	(56)
1,900	…	…	－	－	－	nc	(57)
289	…	…	－	－	－	nc	(58)

5　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6　陸稲の（参考）10ａ当たり平均収量対比とは、10ａ当たり平均収量（原則として過去７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率である。

２　平成29年産水稲の収量構成要素（水稲作況標本筆調査成績）

全国・都道府県		1㎡当たり株数		1株当たり有効穂数		1㎡当たり有効穂数		1穂当たりもみ数		1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量	
		本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比
		株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
全国	(1)	17.3	97	23.6	105	409	103	73.6	99	301	101	18.1	99
北海道	(2)	22.0	99	24.5	97	538	96	63.2	103	340	99	17.1	104
青森	(3)	19.5	94	21.6	105	421	99	83.8	107	353	106	17.3	96
岩手	(4)	17.5	94	25.1	108	440	101	66.1	101	291	102	18.7	97
宮城	(5)	17.1	95	26.9	110	460	105	66.1	101	304	105	18.0	96
秋田	(6)	19.0	99	22.5	100	427	99	75.2	103	321	102	18.3	98
山形	(7)	19.3	98	24.5	103	473	102	67.4	100	319	102	19.2	99
福島	(8)	17.1	95	23.7	109	405	104	75.8	100	307	104	18.3	98
茨城	(9)	16.1	98	24.3	107	391	104	77.0	96	301	100	17.8	101
栃木	(10)	17.1	98	21.6	107	369	106	81.0	95	299	101	17.4	94
群馬	(11)	17.0	97	21.5	104	366	101	82.0	103	300	103	17.0	97
埼玉	(12)	16.4	98	23.4	108	384	105	75.3	97	289	102	17.4	99
千葉	(13)	16.0	97	24.6	107	394	104	77.7	99	306	103	18.1	98
東京	(14)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc
神奈川	(15)	17.0	98	21.2	109	360	106	82.8	102	298	108	17.3	95
新潟	(16)	16.7	99	22.4	101	374	101	74.6	94	279	95	19.3	103
富山	(17)	19.1	102	20.1	105	384	107	74.2	95	285	102	19.6	99
石川	(18)	17.4	98	22.4	102	389	100	73.5	99	286	99	18.5	101
福井	(19)	17.6	99	23.4	106	412	105	69.9	96	288	101	18.6	101
山梨	(20)	17.0	97	23.9	106	407	102	75.2	99	306	101	18.2	99
長野	(21)	18.1	98	23.1	102	419	100	79.2	101	332	101	19.3	101
岐阜	(22)	15.9	97	22.9	105	364	102	73.6	99	268	100	18.6	100
静岡	(23)	17.4	97	22.2	106	387	103	73.9	99	286	102	18.5	97
愛知	(24)	16.9	98	23.0	106	388	103	73.5	98	285	101	18.3	100
三重	(25)	16.1	97	24.0	107	387	104	71.3	94	276	97	17.7	98
滋賀	(26)	16.5	97	23.5	105	387	102	78.0	98	302	100	17.5	100
京都	(27)	16.5	99	21.4	106	353	104	79.0	96	279	100	18.6	100
大阪	(28)	15.8	96	23.5	108	372	104	79.3	99	295	102	17.4	99
兵庫	(29)	16.0	99	21.5	103	344	102	77.6	97	267	99	19.3	102
奈良	(30)	15.4	92	24.2	113	372	104	80.9	98	301	102	17.6	99
和歌山	(31)	16.0	95	23.6	108	378	103	76.2	100	288	102	17.8	99
鳥取	(32)	16.3	99	23.4	107	382	106	72.8	97	278	104	19.1	98
島根	(33)	16.2	96	22.7	111	368	107	76.4	96	281	102	18.9	101
岡山	(34)	15.5	97	23.6	109	366	107	78.7	95	288	101	19.3	102
広島	(35)	15.9	98	24.0	108	381	106	74.5	94	284	99	19.2	103
山口	(36)	16.3	97	23.1	112	376	108	75.8	95	285	103	18.8	102
徳島	(37)	16.0	98	24.6	108	394	105	72.6	95	286	100	17.1	102
香川	(38)	15.8	96	23.7	101	375	97	73.3	98	275	95	18.0	103
愛媛	(39)	14.7	96	24.6	106	361	102	78.7	99	284	101	18.2	100
高知	(40)	14.5	97	26.3	111	381	108	70.6	97	269	105	17.9	97
福岡	(41)	16.2	97	24.0	109	389	106	76.6	97	298	103	17.5	100
佐賀	(42)	16.8	96	25.3	110	425	106	75.1	100	319	106	17.0	96
長崎	(43)	16.4	95	24.3	112	399	107	73.9	97	295	104	17.1	98
熊本	(44)	15.2	96	27.1	112	412	107	73.8	96	304	103	17.6	99
大分	(45)	15.2	94	24.2	108	368	101	81.5	101	300	102	17.3	98
宮崎	(46)	16.4	96	24.9	106	409	102	69.4	97	284	99	17.9	101
鹿児島	(47)	17.5	98	22.6	106	395	104	72.4	99	286	102	17.5	99
沖縄	(48)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc

注：1　対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（１㎡当たり株数等）の平年値との対比である。
　　2　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県については作期別（早期栽培・普通栽培）の平均値である。
　　3　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。
　　4　千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

粗玄米粒数歩合		玄米粒数歩合		玄米千粒重		10a当たり粗玄米重		玄米重歩合		10a当たり玄米重		
本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	
%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%	
87.0	98	95.0	99	21.9	101	562	101	97.2	99	546	100	(1)
80.0	101	96.7	101	22.1	102	589	102	98.5	100	580	102	(2)
79.9	93	95.7	100	22.6	103	623	101	97.9	100	610	101	(3)
89.7	98	95.0	98	21.9	101	557	100	97.5	99	543	99	(4)
86.2	95	95.4	99	21.8	101	560	101	97.5	99	546	100	(5)
86.3	97	95.3	99	22.3	103	603	101	97.7	99	589	101	(6)
90.9	98	95.2	98	22.1	102	627	101	97.4	99	611	100	(7)
87.6	98	95.2	99	21.9	100	576	102	97.4	100	561	101	(8)
87.0	97	94.7	99	21.6	104	553	101	96.9	99	536	100	(9)
88.3	95	91.7	96	21.5	102	547	97	95.2	98	521	94	(10)
83.3	94	94.4	103	21.7	101	527	99	97.0	102	511	101	(11)
88.9	99	93.4	99	21.0	100	524	101	96.0	99	503	101	(12)
87.9	97	94.8	99	21.7	102	568	101	97.4	99	553	101	(13)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(14)
89.3	99	91.7	98	21.1	99	541	104	95.4	99	516	103	(15)
92.5	102	94.6	98	22.1	102	553	98	97.5	99	539	97	(16)
91.6	99	95.4	98	22.5	102	573	102	97.7	99	560	101	(17)
86.4	100	96.4	99	22.2	101	540	100	98.0	100	529	100	(18)
89.2	99	93.8	98	22.2	103	555	102	96.6	99	536	101	(19)
91.8	100	93.6	99	21.1	100	575	101	96.7	99	556	101	(20)
91.9	100	95.4	99	22.1	102	658	102	97.6	100	642	102	(21)
84.7	100	96.0	100	22.8	100	509	100	97.8	100	498	100	(22)
86.0	97	96.3	100	22.3	100	540	100	98.0	100	529	99	(23)
85.3	99	96.3	100	22.3	101	531	101	98.3	100	522	101	(24)
87.0	99	94.2	99	21.6	101	505	97	96.8	99	489	96	(25)
84.4	98	94.1	100	22.0	102	543	100	97.1	100	527	100	(26)
88.2	99	95.5	100	22.0	100	530	100	97.7	100	518	100	(27)
87.8	99	94.6	101	20.9	100	530	101	96.8	101	513	102	(28)
90.3	99	95.4	101	22.4	102	528	100	97.5	101	515	101	(29)
87.0	101	93.5	98	21.6	100	547	102	96.9	100	530	102	(30)
85.8	99	94.7	100	21.9	100	529	102	97.0	100	513	102	(31)
88.1	97	95.9	100	22.6	101	543	102	97.8	100	531	102	(32)
87.5	98	96.7	100	22.3	102	540	102	98.1	100	530	102	(33)
89.6	100	95.3	100	22.6	102	569	103	97.5	100	555	103	(34)
87.7	99	97.6	101	22.5	103	554	101	98.6	101	546	101	(35)
88.8	99	95.7	101	22.1	102	549	104	97.4	100	535	104	(36)
85.0	102	95.1	99	21.1	101	499	101	97.8	100	488	101	(37)
90.5	100	91.6	99	21.7	104	522	98	94.6	99	494	97	(38)
88.7	98	94.8	100	21.6	102	532	101	97.0	100	516	101	(39)
88.8	99	95.8	99	21.0	99	492	102	97.8	100	481	101	(40)
86.9	100	93.1	100	21.7	100	544	103	96.0	100	522	103	(41)
85.0	97	92.3	99	21.7	100	568	103	95.6	100	543	102	(42)
87.5	101	93.8	99	20.8	97	524	102	96.2	99	504	102	(43)
87.8	98	94.4	100	21.3	101	555	102	96.6	100	536	102	(44)
87.0	98	93.1	99	21.4	101	541	101	95.9	99	519	100	(45)
89.8	102	95.3	100	20.9	99	525	101	97.0	100	509	100	(46)
87.4	101	94.4	99	21.2	99	517	102	96.7	99	500	101	(47)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(48)

３　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況

全国・都道府県		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
		%	%	%	%	%	%	%
全国	(1)	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
北海道	(2)	100.0	0.6	0.8	1.1	1.6	9.3	86.6
青森	(3)	100.0	0.6	1.2	1.5	2.1	11.4	83.2
岩手	(4)	100.0	0.8	1.5	1.9	2.6	15.1	78.1
宮城	(5)	100.0	1.0	1.6	1.7	2.9	16.4	76.4
秋田	(6)	100.0	0.7	1.4	2.0	2.5	14.0	79.4
山形	(7)	100.0	0.7	1.2	1.4	2.8	14.6	79.3
福島	(8)	100.0	0.4	1.5	1.8	2.0	10.9	83.4
茨城	(9)	100.0	1.0	1.9	2.1	3.7	22.3	69.0
栃木	(10)	100.0	1.5	2.1	3.7	4.5	29.2	59.0
群馬	(11)	100.0	1.4	1.8	3.1	5.8	25.6	62.3
埼玉	(12)	100.0	1.3	1.9	3.3	5.1	29.6	58.8
千葉	(13)	100.0	1.1	1.5	2.5	3.2	20.0	71.7
東京	(14)	100.0	1.0	1.7	2.6	3.8	19.8	71.1
神奈川	(15)	100.0	1.8	2.3	3.0	5.6	22.2	65.1
新潟	(16)	100.0	0.7	1.3	1.9	2.5	14.3	79.3
富山	(17)	100.0	0.6	1.2	1.5	2.7	14.5	79.5
石川	(18)	100.0	0.5	1.0	1.3	2.3	13.9	81.0
福井	(19)	100.0	0.9	1.5	1.7	2.5	13.5	79.9
山梨	(20)	100.0	1.2	2.1	2.3	4.2	19.6	70.6
長野	(21)	100.0	0.7	1.3	1.6	2.3	12.9	81.2
岐阜	(22)	100.0	0.8	1.1	2.0	2.0	11.0	83.1
静岡	(23)	100.0	0.6	1.1	1.9	2.7	16.1	77.6
愛知	(24)	100.0	0.7	1.0	1.5	2.2	11.9	82.7
三重	(25)	100.0	1.1	1.8	2.8	2.7	16.5	75.1
滋賀	(26)	100.0	1.1	1.4	1.8	2.4	13.5	79.8
京都	(27)	100.0	0.6	1.2	1.4	1.7	9.0	86.1
大阪	(28)	100.0	1.1	2.0	3.1	4.1	19.7	70.0
兵庫	(29)	100.0	0.8	1.5	1.7	2.5	13.9	79.6
奈良	(30)	100.0	0.7	1.8	2.0	2.9	15.5	77.1
和歌山	(31)	100.0	0.8	1.4	1.8	2.4	13.0	80.6
鳥取	(32)	100.0	0.7	1.3	1.3	1.9	9.1	85.7
島根	(33)	100.0	0.6	1.1	1.7	1.6	9.2	85.8
岡山	(34)	100.0	0.9	1.4	2.1	2.6	14.1	78.9
広島	(35)	100.0	0.6	1.2	1.4	1.6	10.1	85.1
山口	(36)	100.0	0.9	1.5	2.0	2.7	13.2	79.7
徳島	(37)	100.0	0.9	1.7	2.5	3.0	15.6	76.3
早期栽培	(38)	100.0	0.9	1.7	2.5	2.9	15.7	76.3
普通栽培	(39)	100.0	0.9	1.7	2.5	3.1	15.6	76.2
香川	(40)	100.0	0.9	2.0	3.2	4.1	23.6	66.2
愛媛	(41)	100.0	1.0	1.8	2.4	3.6	17.5	73.7
高知	(42)	100.0	0.8	1.4	1.7	2.7	12.6	80.8
早期栽培	(43)	100.0	0.7	1.2	1.3	2.2	11.1	83.5
普通栽培	(44)	100.0	1.0	1.6	2.4	3.4	14.9	76.7
福岡	(45)	100.0	1.3	2.8	3.7	4.0	21.4	66.8
佐賀	(46)	100.0	1.3	2.4	3.2	3.9	19.5	69.7
長崎	(47)	100.0	1.7	3.5	4.4	6.9	29.3	54.2
熊本	(48)	100.0	1.3	2.3	3.5	5.1	23.2	64.6
大分	(49)	100.0	1.5	3.0	4.0	6.7	27.5	57.3
宮崎	(50)	100.0	1.2	1.6	2.9	4.0	20.7	69.6
早期栽培	(51)	100.0	0.7	0.9	1.2	1.8	11.3	84.1
普通栽培	(52)	100.0	1.5	2.1	4.0	5.4	26.7	60.3
鹿児島	(53)	100.0	1.4	2.4	3.8	4.9	22.7	64.8
早期栽培	(54)	100.0	0.6	1.0	1.6	2.1	14.3	80.4
普通栽培	(55)	100.0	1.6	2.8	4.4	5.7	24.9	60.6
沖縄	(56)	100.0	0.9	1.5	2.2	3.0	13.6	78.8

注：１　対平均差に用いた平均値は、直近５か年の重量割合の平均値である。
　　２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

対平均差							
計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以　上	
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	1.8	△ 2.9	(1)
0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3	△ 1.8	2.7	(2)
0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	2.1	△ 3.2	(3)
0.0	0.3	0.6	0.8	1.0	4.2	△ 6.9	(4)
0.0	0.5	0.9	0.5	1.3	4.9	△ 8.1	(5)
0.0	0.3	0.6	0.5	0.3	2.4	△ 4.1	(6)
0.0	0.2	0.4	0.2	0.8	3.0	△ 4.6	(7)
0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	△ 0.4	△ 0.4	(8)
0.0	0.6	0.7	0.3	1.0	5.7	△ 8.3	(9)
0.0	0.7	1.0	1.6	1.7	9.3	△ 14.3	(10)
0.0	△ 0.2	0.1	△ 0.3	△ 1.2	2.9	△ 1.3	(11)
0.0	0.2	0.1	0.5	1.1	5.9	△ 7.8	(12)
0.0	0.4	0.5	0.6	0.8	2.6	△ 4.9	(13)
0.0	△ 0.2	0.0	△ 0.6	△ 1.2	△ 0.2	2.2	(14)
0.0	△ 0.1	0.6	△ 0.5	1.3	3.9	△ 5.2	(15)
0.0	0.2	0.3	0.5	0.5	2.8	△ 4.3	(16)
0.0	0.2	0.4	0.4	0.9	△ 0.2	△ 1.7	(17)
0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	3.7	△ 4.9	(18)
0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	△ 0.6	0.0	(19)
0.0	0.2	0.6	0.6	1.0	3.4	△ 5.8	(20)
0.0	0.0	0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.3	(21)
0.0	0.0	△ 0.2	0.4	△ 0.2	△ 0.3	0.3	(22)
0.0	0.1	0.0	0.3	0.5	3.5	△ 4.4	(23)
0.0	0.1	△ 0.1	0.1	0.4	1.0	△ 1.5	(24)
0.0	0.2	0.5	1.1	0.3	4.6	△ 6.7	(25)
0.0	0.2	△ 0.1	△ 0.2	0.1	1.1	△ 1.1	(26)
0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	(27)
0.0	△ 0.2	0.0	△ 1.0	△ 0.2	0.4	1.0	(28)
0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.5	3.0	(29)
0.0	△ 0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	△ 1.3	(30)
0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.1	0.2	(31)
0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.9	3.0	(32)
0.0	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.3	△ 1.5	1.9	(33)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.4	(34)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.7	2.5	(35)
0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.4	△ 0.4	△ 2.9	3.8	(36)
0.0	△ 0.1	0.2	0.1	0.3	1.2	△ 1.7	(37)
0.0	0.0	0.4	0.3	0.4	1.2	△ 2.3	(38)
0.0	△ 0.2	0.1	△ 0.1	0.3	1.2	△ 1.3	(39)
0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.4	3.5	(40)
0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.1	2.0	(41)
0.0	0.1	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 0.9	(42)
0.0	0.2	0.4	0.3	0.3	0.7	△ 1.9	(43)
0.0	△ 0.1	0.0	0.4	△ 0.1	△ 1.1	0.9	(44)
0.0	△ 0.1	0.2	0.2	△ 0.6	△ 0.2	0.5	(45)
0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.4	△ 1.1	(46)
0.0	0.4	1.0	0.8	1.3	3.0	△ 6.5	(47)
0.0	0.1	0.2	0.3	0.7	1.1	△ 2.4	(48)
0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.4	△ 1.8	(49)
0.0	0.1	△ 0.2	0.4	0.0	△ 1.8	1.5	(50)
0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.7	△ 7.4	8.6	(51)
0.0	0.1	△ 0.1	0.8	0.4	1.6	△ 2.8	(52)
0.0	0.3	0.5	0.8	0.7	0.8	△ 3.1	(53)
0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0	△ 2.0	△ 11.3	15.1	(54)
0.0	0.5	0.9	1.5	1.6	4.9	△ 9.4	(55)
0.0	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.4	△ 0.8	△ 6.2	8.3	(56)

４　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量

単位：kg

全国・都道府県	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
全国	534	529	521	510	494	409
北海道	560	557	552	546	537	485
青森	596	592	585	576	564	496
岩手	533	529	521	511	497	416
宮城	535	530	521	512	496	409
秋田	574	570	562	550	536	456
山形	598	594	587	578	562	474
福島	549	547	539	529	518	458
茨城	525	520	510	499	479	362
栃木	510	502	492	473	450	301
群馬	499	492	483	468	439	311
埼玉	494	488	478	462	437	290
千葉	543	537	529	515	498	389
東京	411	407	400	389	374	292
神奈川	509	500	488	473	444	331
新潟	526	522	515	505	492	417
富山	546	543	536	528	513	434
石川	519	516	511	504	493	420
福井	525	520	512	503	490	419
山梨	549	542	531	518	495	388
長野	629	625	616	606	592	511
岐阜	488	484	479	469	459	406
静岡	515	512	506	496	483	400
愛知	512	508	503	496	484	423
三重	480	475	466	453	440	360
滋賀	517	511	504	495	482	413
京都	510	507	501	494	485	439
大阪	506	500	490	475	454	354
兵庫	501	497	489	481	468	399
奈良	521	517	508	498	482	402
和歌山	507	503	496	487	475	409
鳥取	520	516	510	503	493	446
島根	519	516	510	501	493	445
岡山	544	539	531	520	506	429
広島	534	531	524	517	508	454
山口	521	516	508	498	484	415
徳島	480	476	468	456	441	366
早期栽培	481	477	468	456	443	367
普通栽培	479	475	467	455	440	365
香川	484	480	470	454	435	320
愛媛	508	503	494	482	463	374
高知	471	467	461	453	440	381
早期栽培	498	495	489	482	471	416
普通栽培	435	431	424	413	398	334
福岡	509	502	488	469	449	340
佐賀	531	524	511	494	474	370
長崎	495	487	469	447	413	268
熊本	527	520	508	490	463	340
大分	506	498	483	463	429	290
宮崎	499	493	485	471	451	347
早期栽培	494	491	486	480	471	415
普通栽培	503	495	485	465	438	303
鹿児島	486	479	468	449	425	315
早期栽培	472	469	464	457	447	379
普通栽培	490	482	468	447	419	297
沖縄	301	298	294	287	278	237

注：　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、都道府県別の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

５　平成29年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：ｔ

全国・都道府県	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
全国	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
北海道	581,800	578,300	573,700	567,300	557,900	503,800
青森	258,700	257,100	254,000	250,200	244,700	215,200
岩手	265,400	263,300	259,300	254,300	247,400	207,300
宮城	354,700	351,200	345,500	339,400	329,200	271,000
秋田	498,800	495,300	488,300	478,300	465,900	396,000
山形	385,700	383,000	378,400	373,000	362,200	305,900
福島	351,400	350,000	344,700	338,400	331,400	293,100
茨城	357,500	353,900	347,100	339,600	326,400	246,700
栃木	293,800	289,400	283,200	272,400	259,100	173,300
群馬	77,300	76,200	74,800	72,400	67,900	48,200
埼玉	156,100	154,100	151,100	146,000	138,000	91,800
千葉	299,700	296,400	291,900	284,400	274,800	214,900
東京	580	574	564	549	527	412
神奈川	15,700	15,400	15,100	14,600	13,700	10,200
新潟	611,700	607,400	599,500	587,800	572,600	485,100
富山	205,300	204,100	201,600	198,500	193,000	163,200
石川	131,300	130,600	129,300	127,600	124,600	106,400
福井	130,700	129,500	127,600	125,300	122,100	104,400
山梨	27,200	26,900	26,300	25,700	24,500	19,200
長野	203,200	201,800	199,100	195,900	191,200	165,000
岐阜	106,900	106,000	104,900	102,700	100,600	88,800
静岡	80,900	80,400	79,500	78,000	75,800	62,800
愛知	140,800	139,800	138,400	136,300	133,200	116,400
三重	131,500	130,100	127,700	124,000	120,500	98,800
滋賀	163,900	162,100	159,800	156,900	152,900	130,800
京都	75,000	74,600	73,700	72,600	71,300	64,600
大阪	26,100	25,800	25,300	24,500	23,400	18,300
兵庫	183,400	181,900	179,200	176,100	171,500	146,000
奈良	44,900	44,600	43,800	42,900	41,600	34,600
和歌山	33,300	33,000	32,600	32,000	31,200	26,800
鳥取	65,500	65,000	64,200	63,300	62,100	56,100
島根	90,800	90,300	89,300	87,700	86,300	77,900
岡山	163,700	162,200	159,900	156,500	152,200	129,200
広島	126,600	125,800	124,300	122,500	120,500	107,700
山口	105,800	104,800	103,300	101,100	98,300	84,300
徳島	55,200	54,700	53,800	52,400	50,700	42,100
早期栽培	21,400	21,200	20,800	20,300	19,700	16,300
普通栽培	33,900	33,600	33,000	32,200	31,100	25,800
香川	62,000	61,400	60,200	58,200	55,700	41,000
愛媛	70,600	69,900	68,600	66,900	64,400	52,000
高知	54,600	54,200	53,400	52,500	51,000	44,100
早期栽培	32,400	32,200	31,800	31,400	30,700	27,100
普通栽培	22,000	21,800	21,400	20,900	20,200	16,900
福岡	181,700	179,300	174,300	167,500	160,300	121,400
佐賀	130,600	128,900	125,800	121,600	116,500	91,000
長崎	57,400	56,400	54,400	51,900	47,900	31,100
熊本	175,500	173,200	169,200	163,000	154,100	113,400
大分	106,300	104,700	101,500	97,300	90,100	60,900
宮崎	81,300	80,300	79,000	76,700	73,400	56,600
早期栽培	31,900	31,700	31,400	31,000	30,400	26,800
普通栽培	49,600	48,900	47,800	45,800	43,200	29,900
鹿児島	99,100	97,700	95,300	91,600	86,700	64,200
早期栽培	21,100	21,000	20,800	20,400	20,000	17,000
普通栽培	78,400	77,100	75,000	71,500	67,000	47,500
沖縄	2,190	2,170	2,140	2,090	2,020	1,730

注：　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、都道府県別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

６　水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【平成29年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

全国・都道府県	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上
全国	100.0	0.3	2.7	24.9	36.9	34.3	0.9
北海道	100.0	0.3	－	0.3	15.0	79.0	5.4
青森	100.0	－	－	－	1.5	98.5	－
岩手	100.0	－	－	－	7.3	92.7	－
宮城	100.0	－	－	－	1.7	98.3	－
秋田	100.0	0.3	－	0.3	21.5	77.9	－
山形	100.0	－	－	0.6	20.1	79.0	0.3
福島	100.0	－	－	0.6	59.1	40.3	－
茨城	100.0	1.1	1.1	16.2	80.5	0.7	0.4
栃木	100.0	－	0.7	3.5	95.5	0.3	－
群馬	100.0	3.2	3.2	87.8	4.5	1.3	－
埼玉	100.0	1.6	29.5	62.3	6.6	－	－
千葉	100.0	1.8	2.1	88.6	6.8	0.7	－
東京	100.0	－	50.0	50.0	－	－	－
神奈川	100.0	－	22.4	71.5	4.1	2.0	－
新潟	100.0	0.2	－	2.7	63.9	31.1	2.1
富山	100.0	－	－	－	10.3	87.1	2.6
石川	100.0	－	－	1.3	51.3	47.4	－
福井	100.0	－	－	－	1.7	97.5	0.8
山梨	100.0	－	18.9	45.2	34.0	1.9	－
長野	100.0	－	－	22.1	67.0	10.2	0.7
岐阜	100.0	－	5.4	49.6	38.9	5.4	0.7
静岡	100.0	0.5	5.3	50.3	42.9	0.5	0.5
愛知	100.0	－	－	10.3	43.9	45.8	－
三重	100.0	0.4	0.9	39.1	56.6	3.0	－
滋賀	100.0	－	0.5	10.1	29.8	59.1	0.5
京都	100.0	－	0.6	36.4	53.3	9.1	0.6
大阪	100.0	4.3	34.8	56.6	2.9	1.4	－
兵庫	100.0	－	6.3	37.4	44.1	3.4	8.8
奈良	100.0	1.9	3.7	78.7	14.8	0.9	－
和歌山	100.0	－	2.8	97.2	－	－	－
鳥取	100.0	－	－	5.4	93.2	1.4	－
島根	100.0	－	－	4.7	34.0	61.3	－
岡山	100.0	－	1.6	25.8	72.2	0.4	－
広島	100.0	－	1.6	21.7	70.9	5.3	0.5
山口	100.0	－	0.5	2.1	79.8	17.6	－
徳島	100.0	－	10.9	76.9	12.2	－	－
香川	100.0	1.4	26.5	63.9	8.2	－	－
愛媛	100.0	－	0.6	36.9	62.5	－	－
高知	100.0	－	8.3	86.1	5.6	－	－
福岡	100.0	－	－	12.1	87.5	0.4	－
佐賀	100.0	－	－	1.9	50.2	47.0	0.9
長崎	100.0	1.4	21.6	60.8	13.5	2.7	－
熊本	100.0	－	1.1	36.2	61.3	1.4	－
大分	100.0	－	1.0	60.6	37.9	－	0.5
宮崎	100.0	－	0.5	99.5	－	－	－
鹿児島	100.0	－	－	80.7	19.3	－	－
沖縄	100.0	－	20.0	80.0	－	－	－

注：この表は水稲作況標本（基準）筆農家等が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7　平成29年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位:%

全国・都道府県	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	100.0	0.1	0.1	0.7	4.6	24.6	47.1	19.9	2.7	0.2
北海道	100.0	－	－	0.2	1.6	17.8	45.3	31.3	3.8	－
青森	100.0	－	－	－	2.4	12.2	36.8	32.5	14.0	2.1
岩手	100.0	－	－	1.5	3.8	26.2	42.6	24.1	1.5	0.3
宮城	100.0	－	0.3	－	3.0	21.2	57.6	17.3	0.6	－
秋田	100.0	－	－	－	2.1	11.8	37.6	47.2	1.3	－
山形	100.0	－	－	0.6	0.3	9.1	27.4	44.6	17.4	0.6
福島	100.0	－	－	－	2.0	16.0	53.0	24.9	4.1	－
茨城	100.0	－	0.4	0.4	3.9	26.1	50.6	18.2	0.4	－
栃木	100.0	－	－	－	4.3	31.7	53.6	9.7	0.7	－
群馬	100.0	0.6	－	0.6	3.9	38.3	46.0	10.0	0.6	－
埼玉	100.0	－	0.6	1.7	5.0	38.3	46.1	8.3	－	－
千葉	100.0	－	－	0.8	3.1	19.2	46.9	28.8	1.2	－
東京	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
神奈川	100.0	－	－	－	5.7	34.3	51.4	8.6	－	－
新潟	100.0	－	－	0.6	4.8	23.2	53.2	17.6	0.4	0.2
富山	100.0	－	－	－	3.3	16.3	48.6	29.6	2.2	－
石川	100.0	－	－	0.9	6.5	26.1	47.8	18.7	－	－
福井	100.0	－	－	0.9	2.2	20.0	64.7	12.2	－	－
山梨	100.0	－	－	1.1	6.7	15.6	45.5	22.2	8.9	－
長野	100.0	－	0.4	0.4	1.8	3.2	24.2	43.0	24.2	2.8
岐阜	100.0	－	－	2.7	6.5	41.1	40.5	7.6	1.6	－
静岡	100.0	－	－	0.6	6.7	27.2	46.6	18.9	－	－
愛知	100.0	－	－	－	4.3	29.5	54.8	10.0	1.4	－
三重	100.0	0.4	－	2.2	10.0	40.9	38.7	7.8	－	－
滋賀	100.0	－	－	0.5	3.8	25.2	61.4	8.6	0.5	－
京都	100.0	－	－	2.0	6.0	26.0	53.3	12.7	－	－
大阪	100.0	－	－	2.0	4.0	36.0	46.0	12.0	－	－
兵庫	100.0	－	－	0.9	6.5	34.8	48.2	9.6	－	－
奈良	100.0	－	－	－	3.0	27.0	55.0	15.0	－	－
和歌山	100.0	－	－	1.0	4.0	36.0	50.0	8.0	1.0	－
鳥取	100.0	－	－	1.3	3.3	26.0	51.4	17.3	0.7	－
島根	100.0	－	1.0	1.0	3.1	26.7	49.3	17.4	1.5	－
岡山	100.0	0.4	－	－	2.1	20.0	50.4	22.9	4.2	－
広島	100.0	0.5	－	2.3	3.2	23.6	42.6	25.5	1.8	0.5
山口	100.0	－	－	0.5	5.4	25.4	52.0	15.1	1.6	－
徳島	100.0	－	－	0.7	14.7	39.3	37.3	8.0	－	－
香川	100.0	－	－	0.7	9.3	38.7	46.0	5.3	－	－
愛媛	100.0	0.7	1.3	1.3	6.7	28.7	45.3	16.0	－	－
高知	100.0	－	2.9	1.8	13.5	37.1	34.1	10.6	－	－
福岡	100.0	－	－	0.8	5.8	28.1	51.5	13.8	－	－
佐賀	100.0	－	－	0.5	4.8	23.8	47.5	22.9	0.5	－
長崎	100.0	－	0.7	1.3	8.0	36.7	46.6	6.0	0.7	－
熊本	100.0	－	－	0.4	5.7	20.4	62.7	10.4	0.4	－
大分	100.0	－	－	1.6	6.6	27.3	55.2	9.3	－	－
宮崎	100.0	0.5	－	1.0	4.8	36.4	47.3	10.0	－	－
鹿児島	100.0	1.0	－	2.0	13.1	35.2	38.6	10.1	－	－
沖縄	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

注：1　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。
　　2　10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

8　平成29年産水稲の作柄表示地帯別作況指数

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
北海道	石狩	105	群馬	中毛	101
(103)	南空知	105	(101)	北毛	97
	北空知	103		東毛	101
	上川	102			
	留萌	101	埼玉	東部	100
	渡島	100	(101)	西部	102
	檜山	100			
	後志	103	千葉	京葉	99
	胆振	103	(100)	九十九里	100
	日高	103		南房総	102
	オホーツク・十勝	105			
			東京	-	99
青森	青森	102	(99)		
(101)	津軽	102	神奈川	-	102
	南部・下北	97	(102)		
			新潟	岩船	102
岩手	北上川上流	98	(96)	下越北	98
(98)	北上川下流	98		下越南	95
	東部	97		中越	91
	北部	94		魚沼	97
				上越	99
宮城	南部	95		佐渡	95
(99)	中部	96			
	北部	100	富山	-	100
	東部	98	(100)		
			石川	加賀	100
秋田	県北	99	(99)	能登	99
(99)	県中央	101			
	県南	97	福井	嶺北	101
			(101)	嶺南	101
山形	村山	100			
(100)	最上	97	山梨	-	100
	置賜	99	(100)		
	庄内	100	長野	東信	102
			(101)	南信	102
福島	中通り	100		中信	101
(100)	浜通り	99		北信	101
	会津	101			
			岐阜	西南濃	101
茨城	北部	99	(100)	中濃	99
(99)	鹿行	100		東濃	100
	南部	99		飛騨	100
	西部	98			
			静岡	東部	97
栃木	北部	93	(99)	西部	101
(93)	中部	91			
	南部	97			

注：1　全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知	尾張	101	高知	中東部	103
(101)	西三河	101	(103)	西部	102
	東三河	101			
			福岡	福岡	102
三重	北勢	95	(102)	北東部	103
(95)	中勢	95		筑後	102
	南勢	99			
	伊賀	93	佐賀	佐賀	101
			(102)	松浦	105
滋賀	湖南	100			
(100)	湖北	100	長崎	南部	99
			(101)	北部	105
京都	南部	100		五島	103
(100)	北部	100		壱岐・対馬	104
大阪	－	102	熊本	県北	101
(102)			(102)	阿蘇	105
兵庫	県南	100		県南	103
(100)	県北	100		天草	103
	淡路	101			
			大分	北部	103
奈良	－	102	(101)	湾岸	100
(102)				南部	98
和歌山	－	102		日田	102
(102)					
鳥取	東部	102	宮崎	広域沿海	102
(101)	西部	101	(101)	広域霧島	99
				西北山間	100
島根	出雲	102			
(102)	石見	102	鹿児島	薩摩半島	103
			(100)	出水薩摩	100
岡山	南部	103		伊佐姶良	97
(103)	中北部	103		大隅半島	99
				熊毛・大島	105
広島	南部	102			
(102)	北部	102	沖縄	沖縄諸島	102
			(97)	八重山	95
山口	東部	103			
(103)	西部	104			
	長北	103			
徳島	北部	101			
(101)	南部	104			
香川	－	98			
(98)					
愛媛	東予	103			
(102)	中予	101			
	南予	102			

2　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）と普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

9　平成29年産水稲の玄米品位の状況

単位：%

全国 農業地域	区分	整粒	未熟粒	乳白粒･腹白粒	被害粒	死米･着色粒
全国	**重量割合**	**70.6**	**24.4**	**2.7**	**5.1**	**0.8**
	前年値	72.8	22.8	2.4	4.4	0.6
	対前年差(ポイント)	△2.2	1.6	0.3	0.7	0.2
北海道	**重量割合**	**66.9**	**28.7**	**5.1**	**4.5**	**1.2**
	前年値	70.7	25.0	5.6	4.4	1.2
	対前年差(ポイント)	△3.8	3.7	△0.5	0.1	0.0
東北	**重量割合**	**70.0**	**23.6**	**1.5**	**6.3**	**0.7**
	前年値	78.9	17.8	1.0	3.3	0.4
	対前年差(ポイント)	△8.9	5.8	0.5	3.0	0.3
北陸	**重量割合**	**72.5**	**21.3**	**2.6**	**6.3**	**0.6**
	前年値	71.4	21.1	2.0	7.6	0.5
	対前年差(ポイント)	1.1	0.2	0.6	△1.3	0.1
関東・東山	**重量割合**	**72.8**	**24.1**	**2.4**	**3.1**	**0.6**
	前年値	71.0	26.0	2.2	3.1	0.6
	対前年差(ポイント)	1.8	△1.9	0.2	0.0	0.0
東海	**重量割合**	**71.7**	**25.0**	**5.3**	**3.3**	**1.9**
	前年値	70.6	25.3	1.9	4.1	0.6
	対前年差(ポイント)	1.1	△0.3	3.4	△0.8	1.3
近畿	**重量割合**	**70.2**	**25.3**	**3.6**	**4.5**	**0.9**
	前年値	68.1	26.3	3.6	5.8	0.9
	対前年差(ポイント)	2.1	△1.0	0.0	△1.3	0.0
中国	**重量割合**	**72.2**	**22.6**	**3.2**	**5.5**	**0.9**
	前年値	72.2	21.9	3.1	6.0	0.9
	対前年差(ポイント)	0.0	0.7	0.1	△0.5	0.0
四国	**重量割合**	**66.8**	**28.7**	**5.0**	**4.6**	**1.3**
	前年値	69.5	26.4	3.7	4.1	0.7
	対前年差(ポイント)	△2.7	2.3	1.3	0.5	0.6
九州	**重量割合**	**68.1**	**26.7**	**2.2**	**5.2**	**0.9**
	前年値	69.6	26.8	3.4	3.8	0.9
	対前年差(ポイント)	△1.5	△0.1	△1.2	1.4	0.0

注：1　作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである。
　　2　当該品位分析は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
　　3　九州には沖縄県のデータを含む。

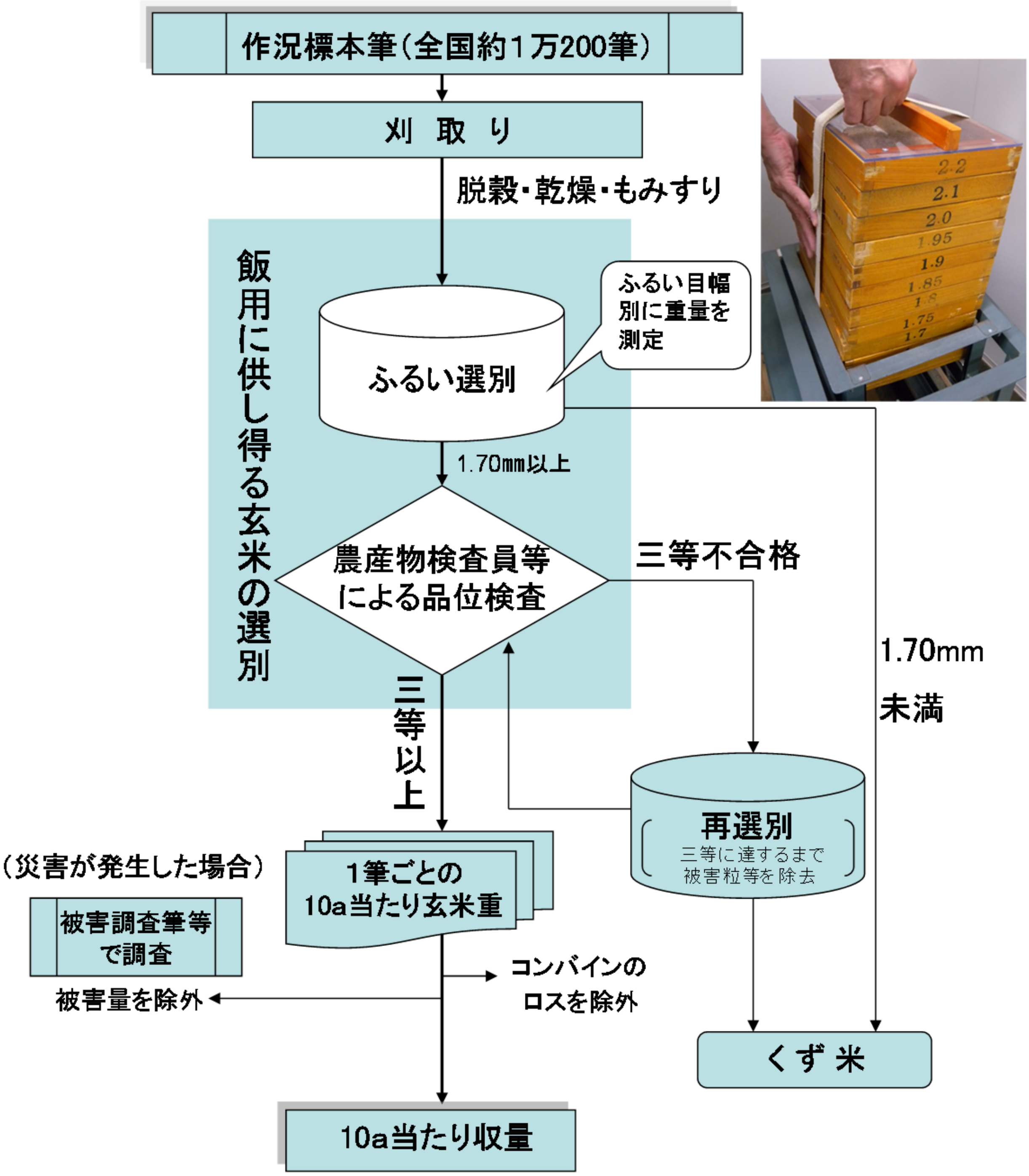
10　平成29年産水稲の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	被害率 実数	被害率 対前年差
	ha	t	%	ﾎﾟｲﾝﾄ
冷害	211,700	44,800	0.6	0.3
日照不足	1,070,000	243,100	3.1	0.9
高温障害	105,300	11,800	0.2	△ 0.1
いもち病	238,800	60,900	0.8	0.0
ウンカ	69,800	14,600	0.2	0.0
カメムシ	110,300	10,600	0.1	0.0

【参考１】

収穫量調査の流れ

◎収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考２】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考２】

作況標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（１枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で１万200筆）調査している。

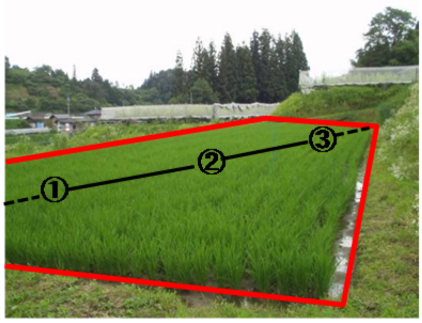
全国の全ての土地
（母集団）

１　全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）

２　標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で１万200筆）



３　各作況標本筆の対角線上の３か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに１㎡（合計３㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2　調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に実施している。

3　調査対象数

(1)　作付面積調査

ア　水　稲

標本単位区：39,369 単位区

イ　陸　稲

	関係団体調査		
	団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
	団体	団体	%
陸　稲	23	20	87.0

(2)　収穫量調査

ア　水　稲

作況標本筆：10,248 筆　作況基準筆：576 筆

イ　陸　稲

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有　効 回収数 ②	有　効 回収率 ③=②/①	母 集 団 の大きさ ④	調査対象 経営体数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有　効 回収数 ⑦	有　効 回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
陸　稲	21	18	85.7	1,838	398	21.7	89	22.4

注：　「有効回収数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった関係団体及び標本経営体は含まれていない。

関係団体調査は、陸稲の集荷を行っている全ての農協等の関係団体に対して調査を実施している全数調査である。

標本経営体調査の標本抽出は、2015 年農林業センサスにおいて、陸稲を販売目的で作付けし、関係団体等以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

4　調査事項

(1)　作付面積調査

水陸稲：作付面積

(2)　収穫量調査

ア　水　稲：　登熟状況、10ａ当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種条件等

イ　陸　稲：　10ａ当たり収量及び収穫量

5　調査期日

(1)　作付面積調査

ア　水　稲：平成29年7月15日現在

イ　陸　稲：収穫期

(2)　収穫量調査

水陸稲：収穫期

6　調査・集計方法

(1)　作付面積調査

ア　水　稲

職員又は統計調査員による標本単位区に対する実測調査により行った。なお、職員による巡回・見積りにより実測調査結果を補完して取りまとめている。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。なお、作付面積の集計は関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

(2)　収穫量調査

ア　水　稲

職員又は統計調査員による作況標本筆及び作況基準筆に対する実測調査により行った。なお、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより実測調査結果を補完して取りまとめている。

ふるい目幅別の調査は、刈取り・もみすりした粗玄米を縦目ふるいにより、ふるい目幅別に選別し重量を計測することにより行った。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。なお、職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完して取りまとめている。

7　実績精度

作付面積調査の水稲作付面積及び収穫量調査の陸稲10ａ当たり収量に係る調査結果（全国）の実績精度（標準誤差率の推定値）は、次のとおりである。

	水　稲 （作付面積）	陸　稲 （10ａ当たり収量）
標準誤差率（%）	0.34	4.8

注：標準誤差率（%）＝標準誤差の推定値÷推定値×100

8　用語の解説

(1)　「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（ＷＣＳ用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2)　「作況指数」とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産以降の作況指数は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（各全国農業地域の目幅は次表のとおり）。

全国農業地域名	所属都道府県名	農家等使用目幅
北海道	北海道	1.85mm
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1.85mm
北陸	新潟、富山、石川、福井	1.85mm
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野	1.80mm
東海	岐阜、静岡、愛知、三重	1.80mm
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1.80mm
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1.80mm
四国	徳島、香川、愛媛、高知	1.75mm
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	1.80mm
沖縄	沖縄	1.75mm

(3)　「10ａ当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10ａ当たり収量をいう。

(4)　「10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として過去７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率をいう。

(5)　「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収した面積をいう。

(6)　「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいう。

(7)　「被害率」とは、平年収量（作付面積×10ａ当たり平年収量）に対する被害量の比率をいう。

９　その他

沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

これを含め、この資料の確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成30年２月予定）するとともに、その後刊行する『耕地及び作付面積統計』及び『作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○　各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】

この結果は、分野別分類「作付面積･生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 面積統計班
電話：（代表） 03-3502-8111 内線3681
（直通） 03-6744-2045
FAX： 03-5511-8771

・収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表） 03-3502-8111 内線3682
（直通） 03-3502-5687
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表） 03-3502-8111 内線3589
（直通） 03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644

政府統計

政府統計の総合窓口
（e-Stat）
http://www.e-stat.go.jp/